

令和5年度 第1回 佐久間中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年4月17日（月） 14時15分から16時まで
ただし、6校時前半は授業参観
- 2 開催場所 佐久間中学校 会議室
- 3 出席委員 高氏 秀佳、笹野 訓子、平賀 むつみ、馬場 真弓、向坂 美保、
奥山 和子、山本 巖、
- 4 欠席委員 古尾 春子、鈴木 千穂、北島 祐介
- 5 オブザーバー 鈴木 孝（佐久間協働センター地域振興グループ長）
坂口 ひろみ（民生委員・児童委員）
長谷川 陽子（佐久間図書館）
大見 芳（NPO法人がんばらまいか佐久間代表）
- 6 学 校 西田 亮（校長）、瀬戸 一志（教頭）、高原 英樹（教務）
- 7 傍 聴 者 0人
- 8 協議事項
 - （1）組織について
 - （2）議長の選出について
 - （3）前回会議録、令和4年度協議会自己評価の確認について
 - （4）熟議
 - ①学校運営の基本方針について
 - ②本校の学校運営上の課題について
 - ③夢育やらまいか事業に対する意見書について
- 9 会議録作成者 CSディレクター 海賀 志美
- 10 会議記録

司会の教頭から、委員総数10人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）組織について

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、大見さんから高氏委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議無くこれを承認した。また、その後、会長に選任された高氏委員から、平賀委員を副会長に指名する旨の報告があった。

（2）議長の選出について

司会から、会長が議長として議事を進行してもらう旨の発言があり、協議の結果、全員異議無くこれを承認した。

(3) 前回会議録、令和4年度協議会自己評価の確認について

議長の指示により、前回会議録、令和4年度協議会自己評価の確認について、別紙資料に基づき説明があり、全員で確認した。

(4) 熟議

①学校運営の基本方針について

昨年度最後の協議会ですでに承認を得ている学校運営基本方針について、校長から「こころざし」「共生」「学び」「郷土」の4つの視点が、それぞれどういったことを目指しているかについて、具体的な教育活動を示しながら再度説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・基本方針の説明から難しいカタカナが少なくなって、分かりやすくなったと思うがどうか。(会長)
- ・同感。職場でも分かりやすい日本語を使うことが求められている。(長谷川)
- ・最近はいろいろな会合に出ても横文字が多くて、話を理解するのにスマホで検索するなど苦労している。(笹野)
- ・すでに承認した方針に意見するのは気が退けるが、学校教育目標が「郷土に貢献できる生徒の育成」となっていることに違和感を覚える。北遠では、ここで育ったあと、「どこに出ていっても大丈夫」を目指して教育活動を行ってきた。(山本)
- ・郷土への誇りは大切だが、成長したあとの活躍の場は広がってほしい。グランドデザインは地域・学校・子供たちをつなげるベースとなる。わかりやすさは大事。(大見)
- ・今出たような意見を学校運営に取り入れていくことが、協議会の活動の根幹。意見を今後の教育活動等にしっかり反映させていく。(校長)

②本校の学校運営上の課題について

校長から、①キャリア教育で身につけたい力の明確化と、目指す生徒の姿「自律心をもつ人」「心を開く人」「考える人」「挑戦する人」とのすりあわせを行っていくこと、②令和8年度途中の、部活動の土日の地域移行に向けて、準備を進めていく。今年度は、「情報収集」の年とする。

- ・全員部活動加入ではないのか。(山本)
- ・自由加入制である。(校長)
- ・今、部活動は何部があるのか。(笹野)
- ・陸上競技・女子ソフトテニス・弓道・芸術の4つ。芸術は中で吹奏楽コースと美術コースに分かれている。(教頭)
- ・学校は部活動の面倒を見なくなるということなのか。学校が部活動について、どのような方向性でどのような意義を持たせて活動していくか、明確にしてほしい。(大見)
- ・5月以降、浜松市としての中学校の部活動についての方向性が示される。また、今議論しているのは、あくまでも土日の部活動のことであり、平日については引き続き学校で担っていく。(校長)
- ・情報収集はどのように行っていくのか。(長谷川)
- ・例えば、佐久間ジュニア吹奏楽クラブという組織・活動がある。この組織の月2回の土曜

日の活動が、部活動の代替になり得るかも知れない。このように、地域には、土日の部活動の受け皿を探っていく情報や人材が埋もれている可能性がある。それをみなさんの力を借りて掘り起こしていきたい。(校長)

- ・分校の部活動との連携は考えていないのか。(長谷川)
- ・これまでも探ってきた経緯があるようだが、課題は多い。しかし、弓道のように、比較的実現の可能性がある種目もある。あらゆる可能性を模索していきたい。(校長)

協議から出た声や対応を、今後協議会全体で取り組んでいくことを確認した。

③夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、別紙資料に基づき説明があり、全員で承認した。

その他報告事項等

- ・地域のお店での、生徒考案の弁当を販売する取り組みは、大きな成功を収めた。今回の取り組みで気づいた課題に対処することで、持続可能で、かつ生徒にとっては一層の達成感、お店や地域にとっては活性化につながる活動として継続していきたい。(奥山)

司会から、次回会議は、令和5年7月4日(火)午後14時から佐久間中学校会議室で開催する旨の報告があった。